

一般質問発言通告書

発言順位 13 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 7年 11月 26日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 16 番 永田 裕二

質問事項1 人材戦略としての兼業・副業について

具体的な内容 三島市内においても民間の人材不足の声が聞かれる。多様な働き方の確保が人材不足だけでなくスキルアップや地域の課題解決にも貢献できるものと考える。公務員においても静岡県庁LGX型兼業が知事から発表されるなど、民間営利企業での就業範囲の拡充が進み始めている。三島市における人材戦略としての兼業・副業について、見解と展望を伺う。

- 1 市職員の兼業・副業の現状
- 2 市職員の兼業・副業に対する認識と評価
- 3 他自治体との比較
- 4 民間企業・市内事業者への支援
 - (1) 「地域の人事部」に関して
 - (2) 「こちら三島の人事部」に関して
- 5 制度整備・働き方改革について
 - (1) 庁内での働き方改革との整合性
 - (2) 庁内での兼業・副業ガイドラインの策定

質問事項2 職員の被服改革

具体的な内容 職員のユニフォームを通じて、三島の魅力発信、職員のモチベーション向上、時代の変化に対応した働き方の推進など、多様な目的を実現する為、市の職員が職務上着用しなければならない被服として防災服や作業着等があるが、それぞれの果たすべき要件や機能について確認し、よりデザインや機能性に優れたユニフォームを採用することについての可能性を伺う。

また、窓口業務時の服装などについて、市民サービスの向上や、シビックプライド向上につなげる提案についての見解を伺う。

- 1 被服貸与の現状
- 2 作業服と防災服について
- 3 窓口業務にあたる職員の被服について

質問事項3 伝統文化としての「しゃぎり」への理解促進策

具体的な内容 近年、転入者が増える中で、伝統文化や音に対する理解不足が課題と感じている。一方で、三島の“しゃぎり”は三島のアイデンティティでもあり、転入者向けパンフレットなどで地域文化を紹介することにより、理解促進と参加のきっかけづくりができるのではと考えるが、現状と可能性を伺う。

- 1 転入者向けなどしゃぎりの情報の共有と発信の現状
- 2 伝統文化としてのしゃぎりについての認識・方針
- 3 具体的な理解促進策
- 4 伝統文化としてのしゃぎりに関する市の体制について